東京都高体連体操女子専門部申し合わせ事項

　2019 年4 月

※以下の申し合わせ事項は、学年別大会、種目別大会、秋季大会に限る。

 ●参加資格

・本年度、高体連体操専門部加盟校の所属で、東京都体操協会の選手登録を完了した者。

（ただし、当該年度の関東高等学校体操競技選手権大会・全国高等学校体操競技選手権大会の参加資格を有した

もの、及び、出場したものは参加資格がない。）

 ●器械寸度（会場の都合により若干の変更がある）

・跳馬 ： 床面より 125ｃｍの跳馬を用意する。

・段違い平行棒： 上バー床面より 250ｃｍ、下バーは床面より 170ｃｍとする。

・平均台： 床面より 125ｃｍとする。

・ゆか ： １２ｍ×１２ｍとする。

 　 ※跳馬、段違い平行棒、平均台では、着地点に会場で準備された 10cm 着地用マットを使用しなければならない。（20cm エバーマットでもよい）

 ●採点に関して

・日本体操協会制定の2017 年版女子採点規則（変更規則Ⅰ）及び、（公財）日本体操協会 HP 掲載の最新情報を

適用する。**ただし、 一部東京都高体連ルールとして、以下のように変更する。**

**①【段違い平行棒】【平均台】【ゆか】については、終末加点を以下のように変更する。**

**・Ａ＝０．３　　Ｂ以上＝０．５**

 **②段違い平行棒において、以下の技をＡ難度として承認する。**

**・「高棒前振り逆上がり」**

 **③ゆかのアクロバットの数え方**

**・アクロラインが１本の場合　⇒　終末技なし　アクロバットは３つまでしか数えない**

**・アクロラインがない場合　　⇒　終末技なし　アクロバットは２つまでしか数えない**

●確認事項

＜器械の変更について＞ 採点規則「器械器具に関して」参照

 　　・機械の高さを変えることはできない。（但し、身体的理由により規定の高さでは床に接してしまう場合は除く）

 　 ⇒段違い平行棒で選手の足や尻がマットに触れてしまう場合、審判長からの書面での許可により段違い平行棒

　　 の両棒を（それぞれ５cm）上げることができる。キャプテン会議までに段違い平行棒の棒を上げるための

申請を主催者へ書面にて提出しなければならない。

＜引率者について＞

・各班のコール時に引率者（顧問）が不在の場合は、練習及び大会参加は出来ない。引率者は当該校の

教諭とする。

 ＜選手変更について＞

・代表者会議**（生徒でも可）**以降の選手変更はできない。

 　＜チームリーダーについて＞

・競技場に入れるチームリーダーは、個人、チームごとに**各校１名**とする。

 　＜団体総合について＞

・同一チーム内で個人総合の権利を２名以上消失した場合、団体総合の権利も失うこととなる。

＜撮影について＞

・競技中の撮影については、あらかじめ主催者側に申請した者に限る。